※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3011

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	日本史Ａ「現代からの歴史」　（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本の近現代の歴史を、日本の地理的条件や世界の歴史と関連付けて学習する。筆記テストの成績、平常点（出欠状況・授業態度・学習への関心）を勘案して総合的に評価する。

2　学習の到達目標

近現代を中心とする日本の歴史を、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解するなかで、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養うとともに、現代の諸課題について近現代史を中心とする歴史と結び付けて歴史的観点から考察する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本における近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	日本における近現代の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	日本における近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	日本における近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身につけている。
評価方法	・自分で課題を見つけ、見通しを持って調べようとしているかを、生徒の活動の観察、調べた内容の分析などを通して評価する。 ・学習したことをもとにして、さらに新しい課題を見つけているかを、ノートやプリントの分析を通して評価する。	・考察した内容を、ノートやプリントの分析を通して評価する。 ・発問に対する生徒の反応や質問の仕方・内容を観察・吟味して評価する。 ・調べた過程や結果を分かりやすく表現しているかを、発表の仕方や発表資料から評価する。	・資料等を適切に収集・活用しているかを、発表資料や作成したレポートを通して評価する。 ・調べた過程や結果を分かりやすく表現しているかを、発表の仕方や発表資料から評価する。	・定期考査で、授業で理解した内容、身につけた知識を確認して評価する。 ・発問に対する回答や各自のノートから、基本的な事柄を理解しているかを分析して評価する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	明治維新・近代国家の成立と国際社会	・19 世紀世界の動向と日本 ・開国と倒幕 ・明治新政府の諸改革と社会の変化 ・明治初期の外交と反政府運動 ・自由民権運動の展開 ・立憲体制の成立 ・日清戦争と国際関係 ・日露戦争前後の世界と日本	○ ○ ○ ○ ◎	 ○ ○ ○ ◎ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしているか。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現しているか。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしているか。 d:設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけているか。	確認テスト 定期考査 ワークシート 出欠状況 授業態度
後期	両世界大戦・現代世界と日本	・帝国日本と第一次世界大戦 ・政党政治と大衆文化 ・軍国日本への道 ・太平洋戦争と日本 ・現代世界の開幕と日本の戦後改革 ・日本の再建復興への道 ・米ソ二重構造の世界と国内の再編 ・高度経済成長の時代 ・低成長から経済大国へ	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎ ○ ○ ○ 	a:自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしているか。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現しているか。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしているか。 d:設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけているか。	確認テスト 定期考査 ワークシート 出欠状況 授業態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b: 思考・判断・表現
c: :資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付け

※令和３年度以前入学生用

ている。